

# 政策分野 2

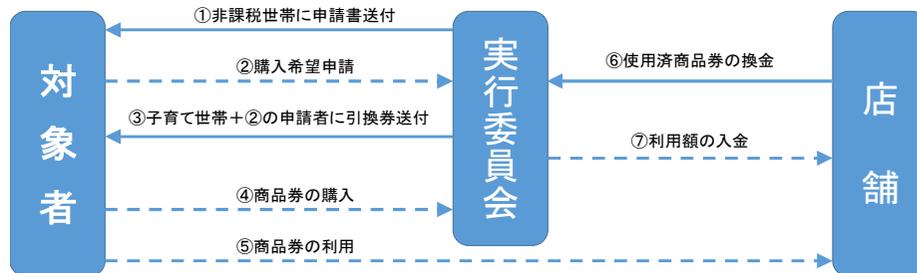
## 産業・活力

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
さっぽろプレミアム付 商品券事業	0 ( 0 )	3,753,000 ( 0 )	3,062,000 ( 0 )	3,062,000	①【新規】プレミアム分 助成	0	2,200,000	2,200,000	【特定財源】 国庫交付金 プレミアム付商品券 事業費 (交付率:10/10) プレミアム付商品券 事務費 (交付率:10/10)
目的・取組内容					②【新規】実行委員会へ の負担金等	0	1,553,000	862,000	
低所得者・子育て世帯向けのプレミアム商品券を発行し、地 域における消費の喚起									
					計	0	3,753,000	3,062,000	
事業内容									

- ①【新規】プレミアム分助成 2,200,000 → 要求のとおり
- 対象者
- ・ 非課税者…H31年度の住民税が非課税(住民税課税者の生計同一者、生活保護受給者等を除く)
  - ・ 子育て世帯…H31年6月1日時点の住民のうち、H28年4月2日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主
  - ・ 対象者は44万人(非課税者40万人、子育て世帯4万人)と見込む
- 事業規模等
- ・ 発行総額 110億円 利用限度額:2.5万円(購入限度額:2万円)
  - ・ 分割販売を可能とする(5,000円/冊の想定)
  - ・ 220万冊発行想定
- ②【新規】実行委員会への負担金等 1,553,000 → 862,000 【査定】経費の精査  
対象者抽出のためのシステム開発や商品券の印刷、広報等の実施

■事業スキーム



分野 2	産業・活力	目標 4	北海道経済の成長をけん引する街	施策 4	超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造	経 ) 産 業 振 興 部
------	-------	------	-----------------	------	----------------------	---------------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
健康医療バイオ 産業支援	78,000 ( 67,000 )	70,000 ( 62,000 )	62,000 ( 42,500 )	19,500	① 研究シーズ発掘支援 等	27,169	23,670	23,670	【特定財源】 国庫交付金 地方創生推進交付金 (交付率:1/2)  【債務負担行為】 ヘルスケア産業ビジネス モデル構築支援業務 限度額:6,000 期間:H32年度
目的・取組内容					② ビジネス機会拡大支 援	19,371	22,330	22,330	
健康福祉・医療関連企業の研究開発、ビジネス機会拡大、 新規参入等の促進					③ ヘルスケア産業ビジ ネスモデル	8,460	9,000	9,000	
					④ 【新規】医療・IT起業家育成	0	15,000	7,000	
					⑤ 産学連携マッチング	5,000	0	0	
					⑥ エビデンス取得支援・ 製造認証取得支援	18,000	0	0	
					計	78,000	70,000	62,000	
事業内容									
<p>① 研究シーズ発掘支援等 23,670 → 要求のとおり 健康・医療分野の若手研究者支援を目的に研究シーズの発掘補助(補助上限:400千円×10件、補助率:10/10) 事業化・実用化に向けた共同研究に対する補助(補助上限:3,000千円×6件、補助率:10/10)、諸経費</p> <p>② ビジネス機会拡大支援 22,330 → 要求のとおり 医療分野経営者育成セミナー、参入促進セミナー等 17,330 ITものづくり分野企業の商談会等参加支援 5,000</p> <p>③ ヘルスケア産業ビジネスモデル 9,000 → 要求のとおり 並走型支援や専門家相談支援等の実施 H30年度より補助対象をクラウドファンディング、試験販売等に絞り、市場ニーズ獲得に資する経費に変更 (補助上限:500千円×5件、補助率:1/2)</p> <p>④ 【新規】医療・IT起業家育成 15,000 → 7,000 【査定】経費の精査 連携中枢都市圏で「医療」、「IT」、「経営」を学ぶ大学・専門学生を結び付け、セミナーやワークショップ等を開催し、 スタートアップの機運醸成を行う</p>									

分野 2	産業・活力	目標 4	北海道経済の成長をけん引する街	施策 2	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進	経) 観光・MICE 推進部
------	-------	------	-----------------	------	----------------------	----------------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
観光客受入 環境整備関係	133,000 ( 119,491 )	303,000 ( 289,491 )	248,000 ( 234,491 )	13,509	① 観光バス迷惑駐車対策・Wi-Fi環境維持 ② 富裕層受入環境整備 ③ 観光サイン維持管理 ④ 【新規】総合案内板設置	29,647 100,000 3,353 0	29,947 214,700 3,353 55,000	29,647 170,000 3,353 45,000	【特定財源】 財産運用収入 貸地料  【債務負担行為】 Sapporo City Wi-Fi運 営管理 限度額:15,300 期間:H32年度
目的・取組内容					計	133,000	303,000	248,000	
札幌観光の満足度を向上させるため、観光バス路上駐車対策やWi-Fi運用等、観光客を受け入れる環境整備を行う他、富裕層向けのハード整備の補助やソーラーシステムによる発電機能、停電時の非常用電源を備えたデジタルサイネージの設置									
事業内容									
① 観光バス迷惑駐車対策・Wi-Fi環境維持			29,947	→	29,647	【査定】経費の精査			
② 富裕層受入環境整備			214,700	→	170,000	【査定】経費の精査			
富裕層受入環境の整備支援									
・経営者層向けコンサルティング補助			10,800	→	6,750				
補助上限:1,350千円、8 5件、補助率:2/3 (H30年度実績 申請4件)									
・コンサルティングに基づくハード支援			200,000	→	160,000				
客室増改築									
補助上限:10,000千円、4 1件、補助率:1/2 H30年度実績 なし									
フロア増改築									
補助上限:70,000千円、2件、補助率:1/2 H30年度実績 申請1件									
エントランス増改築									
補助上限:10,000千円、2 1件、補助率:1/2 H30年度実績 なし									
・コンサルティングに基づくソフト支援			3,900	→	3,250				
補助上限:650千円、65件、補助率:2/3 (H30年度実績 申請1件)									
③ 観光サイン維持管理			3,353	→	要求のとおり				
観光サイン修繕(2基分):1,400千円、表記更新(10基分)等:1,930千円、用地借り上げ:23千円									
④ 【新規】総合案内板設置			55,000	→	45,000	【査定】経費の精査			
システム開発費及びデジタルサイネージ設置、既存案内板撤去費用等									
・市内15 7か所に設置を想定									
<<設置想定>>									
大通駅周辺・さっぽろ駅周辺・すすきの駅周辺・大通公園1丁目・北三条広場周辺・狸小路周辺									
中島公園駅・藻岩山ロープウェイ駅・宮の沢駅・円山公園駅・バスセンター前駅・新札幌駅									
真駒内駅・福住駅・定山溪									

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
連携中枢都市圏推進関係	15,000 ( 2,500 )	23,665 ( 23,665 )	19,083 ( 19,083 )		① 【新規】「学生による課題解決」プログラム	0	3,000	3,000	
					② さっぽろ圏移住促進事業	0	6,000	6,000	
					③ Kitaraファースト・コンサートへの参画	0	6,000	6,000	
					④ 【新規】ICT活用戦略推進関係	0	8,665	4,083	
					⑤ その他	15,000	0	0	
					計	15,000	23,665	19,083	

目的・取組内容

連携中枢都市圏において、圏域内の様々な資源を活用した連携の強化や事務事業の効率化を図り、圏域の活性化を図り、魅力あるまちづくりを推進

事業内容

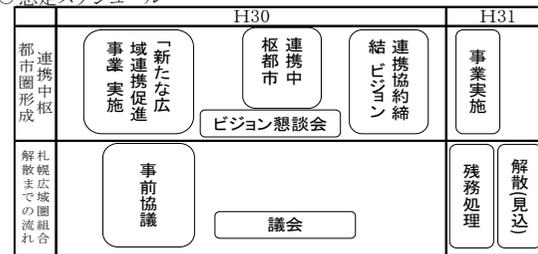
① 【新規】「学生による課題解決」プログラム 3,000 → 要求のとおり  
 ■ 圏域課題の解決と人口流出の抑制を目的として、「学生」が「地域課題」を発見・解決を図るための取組を実施

② さっぽろ圏移住促進事業 6,000 → 要求のとおり  
 ■ 圏域内への人口流入を促進するため、移住イベントの実施  
 ※ 広域圏組合からの継続事業

③ Kitaraファースト・コンサートへの参画 6,000 → 要求のとおり  
 ■ 連携市町村の小学生が、札幌交響楽団の音楽をKitaraで聴くことができるコンサートを開催  
 ※ H30年度まで実施していた広域圏組合における「Kitaraジュニアコンサート」の継続  
 ※ 会場へのバスについては、連携市町村が手配及び負担

④ 【新規】ICT活用戦略推進関係 8,665 → 4,083  
 ■ ICTの活用について、連携中枢の取組として、圏域の市町村を含めて推進  
 ・ 市外ニーズ調査 3,000  
 ・ その他PR経費等 5,665 → 1,083

○ 想定スケジュール



【査定】事業内容の精査

○ 連携中枢都市圏制度概要

連携中枢都市の役割
ア 圏域全体の経済成長のけん引
イ 高次の都市機能の集積・強化
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上
連携中枢都市に対する財政措置
普通交付税：(ア・イの取組に対し)年間4.4億円程度
特別交付税：(ウの取組に対し)年間1.2億円程度
地域活性化事業債：観光拠点施設整備等が起債対象
連携市町村(札幌圏における想定)
石狩管内：江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村
石狩以外：小樽市・岩見沢市・南幌町・長沼町

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 5	さっぽろ未来創造プロジェクト
------	-------	------	--------------	------	----------------

ス ) 招 致 推 進 部

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
冬季オリンピック・パラ リンピック招致関連	108,282 ( 102,282 )	78,000 ( 73,000 )	69,000 ( 64,000 )	国庫支出金 5,000	① オリパラ教育推進	11,500	15,607	15,100	【特定財源】 国庫委託金 オリンピック・パラリン ピックムーブメント全 国展開事業費
目的・取組内容					② 招致機運醸成	22,200	27,693	19,200	
冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けた招致機運醸成、並びに施設計画の更新及び追加検討等					③ IOC、JOCとの協議等	10,300	8,700	8,700	
					④ 開催概要計画更新等	56,200	18,455	18,455	
					⑤ 国際大会誘致に向けた会場視察対応等	8,082	7,545	7,545	
					計	108,282	78,000	69,000	
事業内容									
<p>① オリパラ教育推進 15,607 → 15,100 【査定】経費の精査 オリパラ教育推進のため、小学生を対象にミュージアム訪問機会を創出 H30年度 H31年度 実施校 45校 → 60校(2030年に向けて段階的に拡大)</p> <p>② 招致機運醸成 27,693 → 19,200 【査定】事業内容の精査 イベント等経費 20,574 → 12,081 オールオリンピアンズPR事業、「虹と雪のバラード」を活用した取組等 市民周知経費 7,119 → 要求のとおり 市民向けパンフレットの印刷、PR動画制作等</p> <p>③ IOC、JOCとの協議等 8,700 → 要求のとおり</p> <p>④ 開催概要計画更新等 18,455 → 要求のとおり 開催概要計画更新 17,118 → 要求のとおり 計画(案)の公表に向け、IOCとの協議を踏まえた修正及び市民意見の反映等 立候補ファイル等資料翻訳 1,337 → 要求のとおり</p> <p>⑤ 国際大会誘致に向けた会場視察対応等 7,545 → 要求のとおり 競技予定地へのコース設置に向けたFIS調査員による現地視察対応 検討委員会、有識者会議等</p>									



分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 3	広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実	経 ) 産 業 振 興 部
------	-------	------	--------------	------	-----------------------	---------------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
企業立地促進	1,317,000 (1,317,000)	1,056,000 (1,056,000)	960,000 (960,000)		① 【拡充】コールセンター・ バックオフィス立地促進	200,504	339,750	289,300	
目的・取組内容					② 【拡充】IT・コンテン ツ・バイオ立地促進	78,000	177,000	132,000	
雇用の創出や経済の活性化、産業基盤の強化を図るため、 本社機能移転をはじめとした企業の立地等を促進					③ 札幌圏設備投資促進 補助	1,018,176	517,555	517,555	
					④ 誘致広報関連・セミ ナー等	20,320	21,695	21,145	
					計	1,317,000	1,056,000	960,000	
事業内容									
<p>① 【拡充】コールセンター・バックオフィス立地促進 339,750 → 289,300 【査定】経費の精査  H31年度より、非常用電源設備導入補助(補助上限:10,000千円、補助率:1/2)を新設、  本社機能移転補助のうち人件費補助の上限拡充(最大20,000千円/年×3年→最大50,000千円/年×3年)の制度改正を予定  H28年度:【新設】2件 計:14,500千円  H29年度:【新設】3件 【増設】2件 計:46,250千円  H30年度:【新設】4件 【増設】1件 計:60,000千円  H31年度:【新設】5件 【非常用電源】10,000千円×5件 計:219,000千円 169,000千円</p> <p>② 【拡充】IT・コンテンツ・バイオ立地促進 177,000 → 132,000 【査定】経費の精査  H31年度より、先端IT技術・バイオなど成長分野企業の人数要件を緩和(5名→3名)、人件費単価(50万円/人→100万円/人)や  人件費補助上限を拡充(6,000千円/年×2年→12,000千円/年×2年)、非常用電源補助(5,000千円/件)  H30年度:【新設】7件 【増設】1件 計:46,000千円  H31年度:【新設】9件 【非常用電源】5,000千円×9件 計:131,000千円 86,000千円  ■ 査定 非常用電源導入補助は、他の企業との公平性やオフィスにおける電源のあり方などと合わせて整理すること。</p> <p>③ 札幌圏設備投資促進補助 517,555 → 要求のとおり  「取得固定資産税の課税標準額×10%」(現行) 非常用電源設備の場合は、「取得固定資産税の課税標準額×20%」(H31年度～)  H28年度立地分:1件 7,990  H29年度立地分:2件 64,107  H30年度立地分:10件 445,458  ■ 査定 非常用電源導入補助は、他の企業との公平性やオフィスにおける電源のあり方などと合わせて整理すること。</p> <p>④ 誘致広報関連・セミナー等 21,695 → 21,145 【査定】経費の精査</p>									

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 2	創造性を生かしたイノベーションの誘発
------	-------	------	--------------	------	--------------------

政 ) 政策企画部

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考																
			事業費	特定財源																					
AIを活用した公共事業の最適化に関する研究	0 ( 0 )	49,000 ( 49,000 )	35,000 ( 35,000 )		① 【新規】AIを活用した研究	0	49,000	35,000	【研究期間】 H31～33年度																
目的・取組内容																									
AI(人工知能)の技術を活用し、札幌市の行政課題を解決する仕組みの研究・構築を図る																									
					計	0	49,000	35,000																	
事業内容																									
① 【新規】AIを活用した研究 49,000 → 35,000 【査定】事業内容の精査 公共事業を最適化するため、AIを活用した研究を実施																									
■ 取組内容 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>取組課題</th> <th>調査内容</th> <th>研究内容</th> <th>効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除排雪 (除雪経路・雪運搬)</td> <td>降雪量・除排雪の 出動などのデータ 収集</td> <td>除排雪経路などの 最適化 画像認識技術による 作業支援</td> <td>作業効率の向上、 作業環境の改善 管理経費の節減</td> </tr> <tr> <td>ごみ収集作業 (収集経路・収集量)</td> <td>収集経路・収集量 の把握</td> <td>収集経路の最適化</td> <td>作業効率の向上、 作業環境の改善 管理経費の節減</td> </tr> <tr> <td>交通・移動 (自動車・バス等)</td> <td>人や車などの移動 実態の把握</td> <td>交通ネットワーク などの最適化</td> <td>公共交通利用の 活性化、環境保全 地域経済の活性化</td> </tr> </tbody> </table>										取組課題	調査内容	研究内容	効果	除排雪 (除雪経路・雪運搬)	降雪量・除排雪の 出動などのデータ 収集	除排雪経路などの 最適化 画像認識技術による 作業支援	作業効率の向上、 作業環境の改善 管理経費の節減	ごみ収集作業 (収集経路・収集量)	収集経路・収集量 の把握	収集経路の最適化	作業効率の向上、 作業環境の改善 管理経費の節減	交通・移動 (自動車・バス等)	人や車などの移動 実態の把握	交通ネットワーク などの最適化	公共交通利用の 活性化、環境保全 地域経済の活性化
取組課題	調査内容	研究内容	効果																						
除排雪 (除雪経路・雪運搬)	降雪量・除排雪の 出動などのデータ 収集	除排雪経路などの 最適化 画像認識技術による 作業支援	作業効率の向上、 作業環境の改善 管理経費の節減																						
ごみ収集作業 (収集経路・収集量)	収集経路・収集量 の把握	収集経路の最適化	作業効率の向上、 作業環境の改善 管理経費の節減																						
交通・移動 (自動車・バス等)	人や車などの移動 実態の把握	交通ネットワーク などの最適化	公共交通利用の 活性化、環境保全 地域経済の活性化																						
■ 研究手法 ディープラーニング(深層学習)及びマルチエージェントシミュレーションを活用し、より深い研究を実現するとともに、地元企業と連携を図ることにより実効性の高い取組を実施																									
※マルチエージェントシミュレーション 複数のモノが同時進行的に、お互いに干渉(相互作用)を受ける動きを仮想的に実験する技術																									

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 3	広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実	政 ) 政策企画部
------	-------	------	--------------	------	-----------------------	-----------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考						
			事業費	特定財源											
札幌駅交流拠点 まちづくり推進	14,000 ( 11,000 )	190,000 ( 183,667 )	19,000 ( 17,333 )	1,667	① 北5西1・西2地区の 検討 ② 北4西3街区の検討 支援 ③ その他街区の検討支 援	9,000 5,000 0	171,000 14,800 4,200	5,000 14,000 0	【特定財源】 国庫交付金 社会資本整備総合交 付金 (交付率:1/3)						
目的・取組内容															
札幌駅交流拠点及び周辺街区の事業化に向け、官民協働 で検討を推進															
					計	14,000	190,000	19,000							
事業内容															
① 北5西1・西2地区の検討 171,000 → 5,000 【査定】事業内容の精査 ■ 北5西1・北5西2地区の市街地再開発に向けた調査・検討 環境アセスメント検討 157,000 → 0 環境アセスメント、新幹線駅施設との接続検討等 14,000 → 5,000 (北5西1・北5西2地区環境アセス想定スケジュール) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">H31年度</td> <td>配慮書段階</td> </tr> <tr> <td>H32年度</td> <td>方法書、準備書段階</td> </tr> <tr> <td>H33年度以降</td> <td>評価書段階、都市計画決定</td> </tr> </table>										H31年度	配慮書段階	H32年度	方法書、準備書段階	H33年度以降	評価書段階、都市計画決定
H31年度	配慮書段階														
H32年度	方法書、準備書段階														
H33年度以降	評価書段階、都市計画決定														
② 北4西3街区の検討支援 14,800 → 14,000 【査定】経費の精査 ■ 北4西3街区の事業化に向けた検討会の運営等 ・ 検討会運営 4,200 ・ 計画コーディネート 5,000 ・ 中通り測量・鑑定評価等 5,600 → 4,800															
③ その他街区の検討支援 4,200 → 0 【査定】事業内容の精査 ■ 事業化に向けた検討の支援															

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 3	広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実	政) 総合交通計画部
------	-------	------	--------------	------	-----------------------	------------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
丘珠空港 関連調整	31,000 ( 31,000 )	300,000 ( 300,000 )	272,000 ( 267,000 )	特定財源 道支出金 5,000	① 丘珠空港の利用促進	6,500	6,500	6,500	【特定財源】 道交付金 地域づくり総合交付 金 (交付率:1/2)
目的・取組内容					② 丘珠空港の利活用検討	19,500	24,979	20,403	
航空路線の拡充促進や関係団体との協働プロモーションなどを通じた丘珠空港の利用促進					③ 丘珠空港ビルバリアフリー化	5,000	268,521	245,097	
					計	31,000	300,000	272,000	
事業内容									
<p>① 丘珠空港の利用促進 6,500 → 要求のとおり  <b>■</b> 市民向け利用促進PR・イベント、空港ビルでのイベント、就航先での丘珠空港利用促進PRの実施等</p> <p>② 丘珠空港の利活用検討 24,979 → 20,403 【査定】経費の精査  <b>■</b> H30年度に設置した市民・有識者等からなる関係者会議での検討及び周知のためのオープンハウス型住民説明会やワークショップを実施  ・ 関係者会議関係 19,288 → 16,165  ・ 周辺住民への周知 5,691 → 4,238</p> <p>③ 丘珠空港ビルバリアフリー化 268,521 → 245,097 【査定】事業内容の精査  <b>■</b> 丘珠空港ビルバリアフリー対応工事(エレベータ棟の増築)に係る経費の補助  ・ 工事費 263,661 → 240,581  ・ 工事監理費 4,860 → 4,516</p>									

分野 2	産業・活力	目標 6	産業分野の人材を育む街	施策 1	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用	経 ) 雇 用 推 進 部
------	-------	------	-------------	------	---------------------	---------------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
札幌UIターン 就職支援	52,000 ( 36,000 )	60,000 ( 60,000 )	52,000 ( 26,000 )	26,000 国庫支出金	① UIJターン支援東京 窓口 ② 東京圏大学セールス 員人件費 ③ 札幌企業開拓員人件 費 ④ 広報費等 ⑤ 【新規】交通費補助関 係 計	25,184 4,211 7,631 14,974 0 52,000	28,081 3,168 6,970 18,083 3,698 60,000	26,537 1,584 4,646 17,233 2,000 52,000	【特定財源】 国庫交付金 地方創生推進交付金 (交付率:1/2)  【債務負担行為】 札幌UIターン就職支援 事業 限度額:60,000 期間:H32年度
目的・取組内容									
<p>新卒者などのUIJターンと市内企業の採用を支援するため、都内にUIJターン就職希望者と企業向けの就職支援窓口を設置するとともに、東京圏の大学での説明会や合同企業説明会の実施</p>									
事業内容									
<p>① UIJターン支援東京窓口 28,081 → 26,537 【査定】経費の精査 UIJターン就職を支援する窓口における、市内企業の求人情報等の提供 カウンセラーは3名</p> <p>② 東京圏大学セールス員人件費 3,168 → 1,584 【査定】経費の精査 (1人王 → 0.5人工) 大学セールス員が東京圏の大学を訪問しネットワークを作ることにより、学生への情報提供と学内での企業説明会等を実施</p> <p>③ 札幌企業開拓員人件費 6,970 → 4,646 【査定】経費の精査 (3人王 → 2人工) 札幌勤務の企業開拓員が市内企業の求人を開拓し、東京圏での採用活動を支援</p> <p>④ 広報費等 18,083 → 17,233 【査定】経費の精査</p> <p>⑤ 【新規】交通費補助関係 3,698 → 2,000 【査定】経費の精査 連携中枢都市圏での採用試験・面接・インターンシップに参加するための交通費の一部を補助 ・ 東北・関東・中部地方:12,000円、近畿・中国・四国地方:14,000円、九州・沖縄地方:18,000円 ・ インターンシップについて、2市町村以上は2,000円、3市町村以上は3,000円上乗せ ・ 15,000円×100人想定</p>									

分野 2	産業・活力	目標 6	産業分野の人材を育む街	施策 1	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用	経 ) 雇 用 推 進 部
------	-------	------	-------------	------	---------------------	---------------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
移住による就業者・ 起業創出事業	0 ( 0 )	32,000 ( 9,500 )	32,000 ( 9,500 )	特定財源 国庫支出金 15,000 道支出金 7,500	①【新規】UIJターン希 望者支援補助 ②【新規】補助金支給事 務	0 0	30,000 2,000	30,000 2,000	【特定財源】 国庫交付金 地方創生推進交付金 (交付率:1/2) 道交付金 北海道移住就業・起 業交付金 (交付率:1/4) ※交付対象は①に要す る経費 ※②に要する経費につ いては地財措置あり
目的・取組内容			計	22,500					
東京圏からのUIJターンの促進及び本市企業の担い手不足 の解消のため、移住費用等の一部を補助									
					計	0	32,000	32,000	

事業内容

- ①【新規】UIJターン希望者支援補助 30,000 → 要求のとおり
- 積算の考え方:30人×1,000千円
  - 支援対象者:以下の要件を満たすものに対し、移住に要する費用を補助(最大1,000千円)
    - ・申請時点で東京23区に5年以上在住又は東京圏(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)に在住し東京23区に5年以上通勤する者
    - ・札幌市に移住する者
    - ・札幌市で北海道が定める中小企業等に就業する者、又は起業(※)する者
  - ※ 起業の場合は、北海道から、起業に伴う経費として最大2,000千円の補助あり
  - 実施期間:2019年度～2024年度(6年間)
- ②【新規】補助金支給事務 2,000 → 要求のとおり  
補助金支給事務のほか、申請者の面談や就業(起業)確認等の実施

**マッチングを支援する仕組み**

- 都道府県は求人情報サイトの開設・改修等を実施。
- 国は民間と都道府県等の連携による全国的な情報提供の枠組みを構築。

